

かんわケア Press

たたらリハビリテーション病院 緩和ケア病棟 広報誌

2021年
4月
vol.30



日本緩和医療学会認定研修施設
在宅療養支援病院

発行:たたらリハビリテーション病院 緩和ケア病棟
〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66 tel:(092)691-5508(代表)

<http://www.tatara-reha.jp>

リンパ浮腫治療室をリニューアルしました

2014年10月に開設したリンパ浮腫治療室(1階)が、2020年10月18日にリニューアルしました。壁には絵画を飾り、癒やしの雰囲気に満ちた治療室に生まれ変わりました。

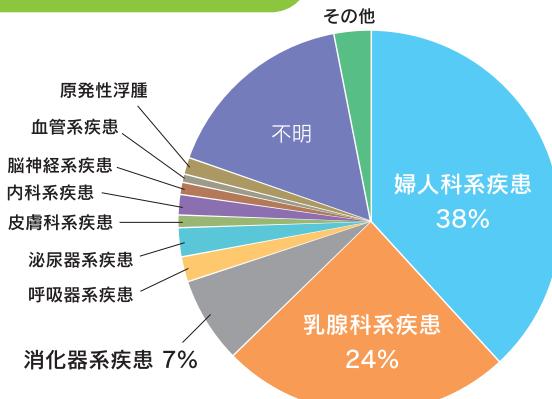
治療対象は、リンパ浮腫や緩和・終末期の浮腫、リンパ管細静脈吻合術(LVA)の術前後など、多岐に渡り、これまでに300名近くの患者さんの治療を行っています。治療方法は、外来・入院どちらも対応するほか、他院との連携を図り、患者さんのご都合やご家族のニーズに応えて進めてています。



リニューアルしたリンパ浮腫治療室(1階)



浮腫の原因疾患



メッセー^ジ

浮腫でお困りの方、くわしく
お聞きになりたい方は、当院
緩和ケア担当医師または医療
相談室までお尋ねください。



お知らせ

新しい音楽療法士をご紹介します

はじめまして♪音楽療法士の松本真寿美と申します。2020年の11月から、7階緩和ケア病棟の音楽療法を担当させていただいている。そもそも私が“音楽療法”を知るきっかけとなったのは、かれこれ数十年前、某楽器店でピアノを教えていた頃、ふと手にした音楽の本の特集で“緩和ケアにおける音楽療法”的症例を目にしたことでした。

“人に寄り添う音楽”という考えに感涙し、「いつかは私もこんな仕事がしたい！」と音楽療法の勉強を始め、認定音楽療法士の資格を取得しました。最初は、精神科や、児童・高齢者の病院での仕事が主でしたが、いつか私の準備ができた頃に緩和ケアの仕事が来ると信じ、長年待ち続けていた2020年、前任の音楽療法士の荒木先生よりバトンを受け取ることができました。実際に緩和ケア病棟に勤務してみて、スタッフの皆さんの個々の意識の高さや患者さんに対するチーム医療の本質に触れ、日々学ぶことばかりです。

緩和ケア病棟での私の仕事は週に1日で、午前中は“オートハーブ”という楽器を持ってお部屋にお邪魔し、思い出の曲やお好きな曲をベッドサイドで一緒に歌ったり、聴いていただきながらライフレビュー（人生を振り返り意味付けをする心のケア）をしています。午後は見晴らしの良い7階テラスを背に、ピアノの生演奏をしながら皆さんのが集まるのをお待ちしています。ピアノの音を聴きつけて来てくださったり、スタッフの声かけで集まってくれた患者さんたちと、リクエスト曲を歌う“歌声サロン”的な時間になっていて、ここでは患者さん同士が音楽をきっかけに昔話を語られ、共感できる場となっています。

ここでは、歌の上手な医師や看護師の方々も患者さんに寄り添い、共に歌い、同じ時を過ごす姿こそ、緩和ケアそのものの姿に感じられ、いつも温かい気持ちになります。

私もそんな姿に近づけるよう、これからも患者さんとの一期一会を大切に、音楽と共に寄り添っていきたいと思います。

面会制限の中での緩和ケア病棟での取り組み

新型コロナウイルスの流行における面会制限があり、ご家族とあまり会えず寂しい思いをされている患者さん。ご家族へ手紙を書いてもらったり、連絡ノートや写真を撮り、日々の様子をご家族にお伝えしたり、オンライン面会を行ったりと、ご家族と患者さんの絆をつなぐお手伝いをしています。

